

主要農作物品種審査会

日 時：令和7年10月16日（木）
午後2時から午後3時30分まで
会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 副会長選出
- 5 報告事項
（1）令和6年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について
- 6 審議事項
（1）令和7年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
（2）水稻優良品種「やまのしずく」、「トヨニシキ」を廃止することについて
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

【配布資料】

- 資料1 主要農作物品種審査会資料
- 資料2 参考資料
- 資料3 令和6年度麦類優良品種決定調査結果（スライド資料）
- 資料4 令和7年度麦類優良品種決定調査に供する品種について（スライド資料）

出 席 者 名 簿

【委 員】

役 職	氏 名	所属及び職名	出欠
会 長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	出席
委 員	守屋 明良	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委 員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	出席
委 員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授	出席
委 員	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長	出席
委 員	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委 員	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士	出席
委 員	阿部 祐子	仙台市経済局農林部農業振興課 課長	出席
委 員	千葉 啓嗣	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹 事】

役 職	氏 名	所属及び職名
幹 事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹 事	都築 寛明	宮城県農政部食産業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹 事	菅野 千秋	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹 事	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
幹 事	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

【事務局等】

役 職	氏 名	所属及び職名
事務局	佐々木 崇	宮城県古川農業試験場 作物栽培部 大豆・麦 ^{チノム} 技師
事務局	大村 雄一	宮城県農政部みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	町 直樹	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（班長）
事務局	佐藤 浩子	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主任主査（副班長）
事務局	佐藤 直紀	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査（副班長）

令和 7 年度

主要農作物品種審査会資料

令和 7 年 1 0 月

宮 城 県

目 次

◎ 知事からの諮問	2
◎ 報告事項	
(1) 令和6年度優良品種決定調査に供した品種(麦類)について	4
◎ 審議事項	
(1) 令和7年度優良品種決定調査に供する品種(麦類)について	11
(2) 水稻優良品種「やまのしずく」、「トヨニシキ」を廃止することについて	15



みや米第311号
令和7年8月29日

主要農作物品種審査会会長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

- 1 令和7年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
- 2 水稲優良品種「やまのしずく」、「トヨニシキ」を廃止することについて

担当 農政部みやぎ米推進課
生産販売班 佐藤（直）
TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849
E-mail：miyamai-se@pref.miyagi.lg.jp

報 告 事 項

(1) 令和6年度優良品種決定調査に供した品種(麦類)について

令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):大麦

- 要望される品種
ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表1 令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(大麦)

供試系統	供試 年数	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)			容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概 評	
										シュンライ	ミノリムギ	ホワイト ファイバー							長所	短所
北陸皮79号	予1	4.22	6.07	81.1	4.3	414	0.0	0.0	47.4	126	130	－	688	35.1	4.0	3.6	49.7	△	収量が優る 硝子率が低い →年次変動確認のため再検討	
東山皮123号	予1	4.25	6.03	81.8	3.8	501	0.0	0.0	50.1	134	138	－	689	38.1	3.0	31.0	48.9	△	収量が優る 硝子率がやや高い →年次変動確認のため再検討	
北陸皮78号	本2 予1	4.24	6.08	86.4	4.4	417	0.0	0.0	53.6	143	147	－	683	37.3	3.0	6.3	53.0	※	収量が優る 硝子率が低い →特性把握につき試験中止	麦ごはんにしたときに酸味や青臭さがある(育成地調べ)
(標)シュンライ		4.21	6.02	88.2	4.0	502	0.0	0.0	37.5	100	100	－	706	36.3	3.0	21.0	50.8			
(比)ミノリムギ		4.26	6.08	93.4	4.3	423	0.0	0.0	36.4	97	100	－	708	35.3	2.0	33.8	50.9			
東山皮糯121号	本2 予1	4.25	6.05	86.8	4.4	467	0.0	0.0	38.1	－	－	90	704	35.3	3.0	15.6	53.8	△	出穂期が遅い →年次変動確認のため再検討	
北陸皮糯81号	本1 予1	4.24	6.07	80.5	4.0	463	0.0	0.0	41.2	－	－	97	701	32.7	3.0	2.4	50.3	※	硝子率が低い 千粒重が小さい →特性把握につき試験中止	
(標)ホワイトファイバー		4.23	6.05	86.4	4.4	487	0.0	0.0	42.4	－	－	100	701	35.4	3.0	11.6	53.4			

注1) 供試年数の「本」は本調査, 「予」は予備調査を表わす。
注2) 倒伏の多少 0: 無、1: 少、2: 中、3: 多、4: 甚
注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0: 無、1: 微、2: 少、3: 中、4: 多、5: 甚
注4) 外観品質 1: 上の上、2: 上の下、3: 中の上、4: 中の中、5: 中の下、6: 下
注5) 有望度 ◎: ごく有望、○: 有望、△: 再検討、×: 打ち切り、※: 中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)
注6) 篩目2.3mm上

耕種概要等(追肥以外は大麦・小麦共通)

播種月日	令和6年10月17日
播種方法	ドリル播き(シーダーテープ)条間25cm 220粒/㎡(約0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素・リン加安777 窒素: 0.8kg 磷酸: 0.8kg 加里: 0.8kg
追肥(aあたり)	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麦)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.25kg(小麦めん用)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.5kg(小麦パン用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場H2ほ場(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区10㎡(4m×2.5m) 2反復

大麦ランク区分			
用途	評価項目	基準値	許容値
主食用等	容積重	690g/L以上	－
	細麦率	2.2mm篩下に2.0%以下	－
	白度	43以上 基準歩留: 55% 農産物検査時から1か月以上経過したサンプル	40以上
	硝子率	40%以下	50%以下
*経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。			

令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):大麦

- 要望される品種
ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表2 令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(大麦)

供試系統	供試	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	赤かび	子実重	子実重 対照比(%)	容積重	千粒重	外観	有望	概 評	
	年数	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	程度	病	(kg/a)	小春二条	(g/L)	(g)	品質	度	長所	短所
東北二条51号	本1 予1	4.24	6.06	79.4	4.5	797	1.0	0.0	56.9	101	740	43.4	4.0	※	千粒重が大きい	外観に色ムラがある
(標)小春二条		4.26	6.07	85.4	5.2	763	2.0	0.0	56.3	100	747	41.5	3.0		→特性把握につき試験中止	

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。
注2) 倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚
注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚
注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下
注5) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)
注6) 篩目2.3mm上

表3 大麦供試系統の歴年成績
北陸皮78号(シュンライ対照)

供試系統	試験 年次	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	標準 対比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概評
北陸皮78号	R4	4.19	6.05	93.2	4.6	478	0.0	0.0	77.7	114	689	41.3	2.0	29.1	47.0	△	・出穂期が3日早く、成熟期は同等。 ・容積重・千粒重が大きく、収量は優る。 ・硝子率が低い
	R5	4.17	5.30	92.1	4.3	435	0.0	0.0	61.8	158	647	37.3	2.0	8.3	52.2	△	
	R6	4.24	6.08	86.4	4.4	417	0.0	0.0	53.6	143	683	37.3	3.0	6.3	53.0	※	
	平均	4.20	6.04	90.6	4.4	443	0.0	0.0	64.4	138	673	38.6	2.3	14.6	50.7		
(標)シュンライ	R4	4.18	6.03	94.7	4.1	515	0.0	0.0	68.2	100	685	38.0	3.0	37.6	48.2		硝子率が低く、多収だが、育成地の調べによると麦ごはんにした際、 酸味や青臭みがある系統である。後継の北陸皮79号は実需からの 評価が良好であり、北陸皮78号については、今回で特性把握につき 終了とする。
	R5	4.16	5.28	84.0	4.0	561	0.0	0.0	39.2	100	657	33.9	2.5	22.5	49.8		
	R6	4.21	6.02	88.2	4.0	502	0.0	0.0	37.5	100	706	36.3	3.0	21.0	50.8		
	平均	4.18	6.01	89.0	4.0	526	0.0	0.0	48.3	100	683	36.1	2.8	27.0	49.6		

東山皮糯121号(ホワイトファイバー対照)

供試系統	試験 年次	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	標準 対比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概評
東山皮糯121号	R4	4.23	6.05	98.6	4.4	525	0.0	0.0	65.4	88	700	38.2	3.0	21.3	51.5	△	・出穂期が2日遅い。 ・千粒重が大きい。 ・硝子率、精麦白度は同等。
	R5	4.19	5.30	95.8	4.2	543	0.0	0.0	60.2	116	678	34.1	2.0	11.5	49.4	△	
	R6	4.25	6.05	86.8	4.4	467	0.0	0.0	38.1	90	704	35.3	3.0	15.6	53.8	△	
	平均	4.22	6.03	93.7	4.3	512	0.0	0.0	54.6	98	694	35.9	2.7	16.1	51.6		
(標)ホワイトファイバー	R4	4.20	6.05	99.6	4.5	628	0.0	0.0	73.9	100	692	35.4	3.0	20.5	51.3		
	R5	4.16	5.28	95.8	4.2	543	0.0	0.0	52.0	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4		
	R6	4.23	6.05	86.4	4.4	487	0.0	0.0	42.4	100	701	35.4	3.0	11.6	53.4		
	平均	4.20	6.02	93.9	4.4	553	0.0	0.0	56.1	100	688	34.5	2.7	15.2	51.4		

北陸皮糯81号(ホワイトファイバー対照)

供試系統	試験 年次	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	標準 対比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概評
北陸皮糯81号	R5	4.18	5.28	88.0	3.8	570	0.0	0.0	49.8	96	653	33.4	3.0	6.2	53.0	△	・硝子率が低い ・千粒重、容積重が小さい。
	R6	4.24	6.07	80.5	4.0	463	0.0	0.0	41.2	97	701	32.7	3.0	2.4	50.3	※	
	平均	4.21	6.02	84.3	3.9	517	0.0	0.0	45.5	97	677	33.1	3.0	4.3	51.7		
(標)ホワイトファイバー	R5	4.16	5.28	95.8	4.2	543	0.0	0.0	52.0	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4		千粒重や容積重が小さく、ホワイトファイバーの置き換えは 難しいと判断し、特性把握につき終了とする。
	R6	4.23	6.05	86.4	4.4	487	0.0	0.0	42.4	100	701	35.4	3.0	11.6	53.4		
	平均	4.20	6.01	91.1	4.3	515	0.0	0.0	47.2	100	686	34.1	2.5	12.6	51.4		

二条51号(小春二条対照)

供試系統	試験 年次	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	標準 対比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概評
東北二条51号	R5	4.21	5.31	81.7	5.1	836	0.0	0.0	70.0	104	729		3.0	－	－	△	・稈長が短い ・千粒重、容積重が大きい。 ・外観に色ムラがある
	R6	4.24	6.06	79.4	4.5	797	1.0	0.0	56.9	101	740	43.4	4.0	－	－	※	
	平均	4.23	6.02	80.6	4.8	817	0.5	0.0	63.5	103	735	43.4	3.5	－	－		
(標)小春二条	R5	4.22	5.31	84.3	5.2	914	1.0	0.0	67.3	100	709	43.2	2.0	－	－		優良品種としての二条大麦導入は難しいことから特性把握につき 終了とする。
	R6	4.26	6.07	85.4	5.2	763	2.0	0.0	56.3	100	747	41.5	3.0	－	－		
	平均	4.24	6.01	84.9	5.2	839	1.5	0.0	61.8	100	728	42.4	2.5	－	－		

注1)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚
注2)赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚
注3)外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下
注4)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)
注5)篩目2.3mm上

令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):小麦

○ 要望される品種

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。
夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

表4 令和6年度(令和7年産)優良品種決定調査成績一覧(小麦)

供試系統	供試 年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率		有望 度	概	評
										シラネ	夏黄金				DM(%)	水分13.5(%)		長所	短所
東北241号	予1	5.04	6.24	67.7	7.8	393	0.0	0.0	43.4	83	－	820	36.4	3.0	11.0	8.8	△	千粒重が小さい	
東山63号	本2 予1	4.30	6.21	69.4	8.6	508	0.0	0.0	61.6	118	－	815	42.4	2.0	10.2	9.5	※	→年次変動確認のため再検討	
																		外観品質が優れる やや低アミロース多収	
																		→特性把握につき試験中止	
東山64号	本1 予1	5.02	6.21	68.7	8.2	361	0.0	0.0	52.6	100	－	812	39.9	3.0	12.0	10.4	※	容積重が小さい	
																		やや低アミロース	
																		→特性把握につき試験中止	
(標)シラネコムギ		5.04	6.22	79.8	7.2	463	0.0	0.0	52.4	100	－	821	41.4	3.0	13.8	11.9			
(比)あおばの恋		4.28	6.20	71.2	6.7	578	0.0	0.0	58.4	111	－	815	38.4	3.0	10.9	9.4			
東山62号	本1 予1	5.02	6.20	79.7	6.8	520	0.0	0.0	43.2	－	98	837	39.0	2.0	15.5	13.4	△	千粒重が大きい	パン加工適性で劣る
(標)夏黄金		5.03	6.21	78.8	7.2	455	0.0	0.0	44.0	－	100	833	37.8	3.0	14.5	12.5		→年次変動確認のため再検討	

注1) 供試年数の「本」は本調査, 「予」は予備調査を表わす。
注2) 倒伏の多少 0: 無、1: 少、2: 中、3: 多、4: 甚
注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0: 無、1: 微、2: 少、3: 中、4: 多、5: 甚
注4) 外観品質 1: 上の上、2: 上の下、3: 中の上、4: 中の中、5: 中の下、6: 下
注5) 有望度 ◎: ごく有望、○: 有望、△: 再検討、×: 打ち切り、※: 中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)
注6) 篩目2.4mm上

要望される小麦のたん白含量(%)			
	軟質	中間質	硬質
たん白含量	9～10	10～11	13～14
主な用途	菓子	うどん	パン・中華めん

* 令和5年度東日本地域麦類育成系統立毛検討会資料「実需者からの要望」より

品質評価基準(小麦)

用途	評価項目	基準値	許容値
日本めん用	たんぱく	9.7%以上11.3%以下	8.5%以上12.5%以下
	灰分	1.60%以下	1.65%以下
	容積重	840g/L以上	－
	フォーリングナンバー	300以上	200以上
パン・中華めん用	たんぱく	11.5%以上14.0%以下	10.0%以上15.5%以下
	灰分	1.75%以下	1.80%以下
	容積重	833g/L以上	－
	フォーリングナンバー	300以上	200以上

*経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

表5 小麦供試系統の歴年成績

①東山63号（シラネコムギ対照）

供試系統	供試年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率 DM(%)	有望 度	概評
東山63号	R4	4.25	6.18	75.8	8.6	465	0.0	0.0	58.3	96	848	45.9	3.0	10.6	△	・出穂期が3日早く、成熟期は3日早い。
	R5	4.22	6.12	71.2	8.7	518	0.0	0.0	64.7	111	855	51.1	2.0	10.1	○	・千粒重が大きい。
	R6	4.30	6.21	69.4	8.6	508	0.0	0.0	61.6	118	815	42.4	2.0	10.2	※	
	平均	4.26	6.17	72.1	8.6	497	0.0	0.0	61.5	108	839	46.5	2.3	10.3		やや低アミロース系統であり、調査によりシラネコムギの
(標)シラネコムギ	R4	4.27	6.19	83.6	7.4	502	0.0	0.0	60.7	100	845	43.1	3.0	13.0		代替は難しいと判断されたため特性把握につき終了とする。
	R5	4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	857	46.0	3.0	12.5		
	R6	5.04	6.22	79.8	7.2	463	0.0	0.0	52.4	100	821	41.4	3.0	13.8		
	平均	4.29	6.19	80.3	7.2	469	0.0	0.0	57.1	100	841	43.5	3.0	13.1		

②東山64号（シラネコムギ対照）

供試系統	供試年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率 DM(%)	有望 度	概評
東山64号	R5	4.25	6.15	71.2	8.7	377	0.0	0.0	60.1	103	846	45.6	3.0	12.5	△	・出穂期が1～2日早く、成熟期は1日早い。
	R6	5.02	6.21	68.7	8.2	361	0.0	0.0	52.6	100	812	39.9	3.0	12.0	※	・千粒重が小さい。
	平均	4.29	6.18	70.0	8.5	369	0.0	0.0	56.4	102	829	42.8	3.0	12.3		
(標)シラネコムギ	R5	4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	857	46.0	3.0	12.5		やや低アミロース系統であり、調査によりシラネコムギの
	R6	5.04	6.22	79.8	7.2	463	0.0	0.0	52.4	100	821	41.4	3.0	13.8		代替は難しいと判断されたため特性把握につき終了とする。
	平均	4.30	6.19	78.7	7.1	453	0.0	0.0	55.3	100	839	43.7	3.0	13.2		

③東山62号（夏黄金対照）

供試系統	供試年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率 DM(%)	有望 度	概評
東山62号	R5	4.25	6.14	79.9	7.2	572	0.0	0.0	57.0	117	863	43.1	3.0	15.1	△	出穂期は1日早く、成熟期は1～2日早い。
	R6	5.02	6.20	79.7	6.8	520	0.0	0.0	43.2	98	837	39.0	2.0	15.5	△	パン加工適性で劣る
	平均	4.29	6.17	79.8	7.0	546	0.0	0.0	50.1	108	850	41.1	2.5	15.3		
(標)夏黄金	R5	4.26	6.16	73.6	8.1	459	0.0	0.0	48.6	100	856	43.1	2.0	15.8		
	R6	5.03	6.21	78.8	7.2	455	0.0	0.0	44.0	100	833	37.8	3.0	14.5		
	平均	4.30	6.19	76.2	7.7	457	0.0	0.0	46.3	100	845	40.5	2.5	15.2		

注1)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚
注2)赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚
注3)外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下
注4)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)
注5)篩目2.4mm上

表6 現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及 センター	有望度	
大麦 「東山皮糯121号」	大河原	△	再検討
	石巻	△	再検討
小麦 「東山63号」	美里	○	有望
	登米	○	有望

審議事項

(1) 令和7年度 麦類優良品種決定調査に供する品種について(案)

イ 要望される品種

- ①大麦:「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。
- ②小麦:「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。
「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

ロ 供試品種及び系統

種類	用 途	予備調査	本調査	現地調査
大麦	うるち	-	北陸皮79号(1) 東山皮123号(1)	北陸皮79号(1)
		-	(標)シュンライ (標)ミノリムギ	(標)ミノリムギ (標)シュンライ
	も ち	-	東山皮糯121号(3)	東山皮糯121号(2)
		-	(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー
計		0	3	2

種類	用 途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	日本めん	-	東北241号(1)	東北241号(1)
		-	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ
	パン・中華めん	東北242号	東山62号(2)	-
		(標)夏黄金	(標)夏黄金	-
計		1	2	1

注)品種及び系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

ハ 令和7年度 麦類優良品種決定調査供試系統(案)特性一覧

①大麦本調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
北陸皮 79号	(東北皮 43号 × 東山皮 糯 109号)F1 × 関東皮 96号	精麦	◆育成地における成績(ファイバースノウ比) ・並性で播性はⅢの秋播型である。 ・破碎でんぷん粒遺伝子 fra をもち、硝子率がかなり低い。 ・出穂期、成熟期は同程度。稈長は短く、穂長は同程度、穂数は少ない。 ・収量はやや少なく、整粒歩合は大きい。容積重、千粒重はやや小さい。 ・うどんこ病には抵抗性(Mla9)で、縞萎縮病抵抗性(rym3)も有する。耐雪性はやや弱い。穂発芽性は同程度。 ・搗精時間は長く、精麦白度は同程度。空洞麦率は高め。原麦粗タンパク含量、原麦β-グルカン含量は同程度。
			◇本県における優良品種決定調査成績(シュンライ・ミノリムギ比) ・出穂期はシュンライより1日遅く、ミノリムギより4日早い。成熟期はシュンライより5日遅く、ミノリムギより1日早い。 ・収量が優れ、硝子率が低い。
東山皮 123号	長交 1609・ファイバースノウ/東山系 591(東山皮 糯 116号)	精麦	(ポストシュンライ) ◆育成地における成績(シュンライ・ファイバースノウ比) ・並性、皮性のうち種で、播性程度はⅣ。 ・出穂期は「シュンライ」より1日、「ファイバースノウ」より2日早く、成熟期は1日早い。 ・稈長は「シュンライ」より長く、「ファイバースノウ」と同等である。穂長は「シュンライ」と同等で「ファイバースノウ」よりやや短い。穂数は「シュンライ」、「ファイバースノウ」より多い。 ・収量は「シュンライ」、「ファイバースノウ」より多収である。 ・容積重は「シュンライ」、「ファイバースノウ」よりやや大きく、千粒重は「シュンライ」と同等で「ファイバースノウ」より小さい。外観品質は「シュンライ」よりやや優れ、「ファイバースノウ」と同等。 ・耐寒性は「強」で「ファイバースノウ」と同等、耐雪性は「強」で「ファイバースノウ」よりやや優れる。 ・オオムギ縞萎縮病抵抗性は、Ⅰ+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「やや強」。いずれも「シュンライ」、「ファイバースノウ」より優れる。 ・穂発芽は「中」で、「シュンライ」、「ファイバースノウ」と同等。 ・硝子率は「シュンライ」より低く、「ファイバースノウ」よりやや低い。白度は「シュンライ」、「ファイバースノウ」よりやや低い。 ・β-グルカン含有率は約5.0%と「シュンライ」、「ファイバースノウ」と同等。
			◇本県における優良品種決定調査成績(シュンライ比) ・出穂期は4日遅く、成熟期は1日遅い。 ・収量が優る。千粒重が大きく、硝子率が低い。

東山皮糯 121 号	東山皮糯 109 号／フ アイバースノ ウ	精麦 (糯)	(ホワイトファイバーの改良版) ◆育成地における成績(ホワイトファイバー比) ・播性程度はⅤ。出穂期は2日遅く、成熟期は同程度。 ・稈長はやや長く、穂長は同程度。穂数はやや少ない。 ・収量は同等。・容積重・千粒重はやや大きく、外観品質は同等。 ・耐寒性は「やや強」でやや優れ、耐雪性は「中」で同等。 ・オオムギ縞萎縮病抵抗性は、Ⅰ+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「やや強」であり、いずれも「ホワイトファイバー」より優れる。 ・硝子率はやや低く、精麦時間は短い。白度は高い。 ・アミロース含量は同等。・β-グルカン量はやや低い。 ◇本県における優良品種決定調査成績(ホワイトファイバー比) ・出穂期は3日遅い。成熟期は同程度。 ・硝子率、精麦白度は同程度。
---------------	--------------------------------	-----------	---

②小麦予備調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
東北 242 号	厨系 E- 743/厨系 E-B196	パン・ 中 華 め ん 用	◆育成地における成績(ゆきちから比) ・播性はⅣ、出穂期は2日遅く、成熟期が1日程度早い中生系統。 ・褐ふ、有芒で、稈長は短く、穂長は長く、穂数は多い。 ・耐雪性は中、穂発芽性は難である。 ・縞萎縮病抵抗性は強、赤さび病抵抗性はやや強。 ・収量がやや少なく、千粒重が小さく、外観品質が優れる。 ・硬質小麦で比表面積は同等。 ・原粒の灰分含量、60%粉の灰分含量ともに同程度。 ・粉の色は、赤みが低い。 ・ファリノグラムの生地成形時間、安定度が長く、弱化度が小さい。エクステンソグラムの伸長抵抗値が大きく、伸長度はやや小さい。 ・製パン適性試験では比容積が大きく、官能評価の合計点が高い。

③小麦本調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
東北 241 号	しゅんよう/ 厨系 D- B356-5-2	日 本 め ん 用	◆育成地における成績(ネバリゴシ比) ・播性程度Ⅳ、出穂期は4日早い。成熟期は同程度。 ・稈長は短く、穂長は長く、穂数は同程度。 ・耐雪性は「やや弱」、穂発芽性は「難」。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「やや強」。 ・収量は同程度、容積重と千粒重が大きく、外観品質がやや優れる。 ・60%粉の蛋白質含量はやや低い。 ・通常アミロースタイプ。 ◇本県における優良品種決定調査成績(シラネコムギ比) ・出穂期は同日、成熟期が2日遅い。 ・稈長が短く、穂数が少ない。千粒重が大きい

東山 62 号	長交小 2135・ゆめ かおり//東 山 42 号/銀 河のちから	パン	◆育成地における成績(ゆめかおり比) ・播性程度Ⅳ、紡錘状穂の有芒種、ふ色は淡黄。 ・出穂期は 3 日遅い。成熟期は 2 日遅い。 ・稈長はやや短い。穂長はやや長い。穂数はやや少ない。倒伏は同等。 ・多収で容積重はやや小さく、千粒重も小さい。外観品質は同等。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「中」である。穂発芽性は「難」。 ・育成地におけるコムギ縮病抵抗性は「強」。 ・製粉歩留及びミリングスコアは高い。 ・60%粉の蛋白質含量はやや低い。 ・粉の色の明度(L*)は、加熱前は同等で加熱後はやや高い。赤み(a*)は加熱前及び加熱後ともに低く、黄色み(b*)は加熱前及び加熱後ともに同等。 ・通常アミロースタイプである。 ・ファリノグラムの吸水率は低い。パロリメータバリュウ(V.V.)は同等。 ◇本県における優良品種決定調査成績(夏黄金比) ・出穂期は1日早く、成熟期が2日早い。 ・収量は同程度～多い。
---------	---	----	---

(2) 水稻優良品種「やまのしずく」、「トヨニシキ」を廃止することについて(案)

1 廃止しようとする品種名、優良品種区分及び採用年次

「やまのしずく」(基幹品種、平成19年採用)

「トヨニシキ」(特定品種、昭和49年採用)

2 廃止する根拠

宮城県優良品種決定基準の2(3)により廃止とする。

3 廃止しようとする品種の作付面積の推移

年次	水稻作付面積 県計(ha)	やまのしずく		トヨニシキ	
		作付面積(ha)	作付比率(%)	作付面積(ha)	作付比率(%)
令和3年	59,038	8	0.01	96	0.2
令和4年	56,566	32	0.06	42	0.1
令和5年	56,468	4	0.01	41	0.1
令和6年	51,839	35	0.07	55	0.1
令和7年	53,118	33	0.06	47	0.1

注) 作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

(参考)

◆宮城県優良品種決定基準(令和2年9月18日決定)の一部抜粋

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し、1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し、重大な欠点が明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

◆宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)(令和2年9月18日決定)の一部抜粋

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稻	麦 類	大 豆
1 0 0 ha	5 0 ha	5 0 ha

参 考 資 料

目 次

I	宮城県優良品種決定基準	2
II	宮城県主要農作物優良品種区分基準	3
III	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	4
IV	宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分	5
V	優良品種決定調査の方法 (宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))	6
VI	宮城県優良品種決定調査方法	7
VII	主要農作物種子条例	9
VIII	主要農作物品種審査会構成員名簿	11
IX	優良品種特性表(水稻)	12
X	優良品種特性表(大豆)	13
X I	優良品種特性表(麦類)	14
X II	水稻優良品種の年次別作付面積	15
X III	大豆優良品種の年次別作付面積	16
X IV	麦類優良品種の年次別作付面積	17

I 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は，優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは，当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し，重大な欠点が明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しがない場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

Ⅱ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和 2 年 9 月 18 日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の 2 区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和 2 年 9 月 18 日決定)「優良品種の採用基準」1 に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅲ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稻・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稻	麦 類	大 豆
2 0 0 ha	1 0 0 ha	1 0 0 ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面 積	備 考
水 稻	2 0 0 ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	2 0 0 ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	3 0 0 ha	1 銘柄販売ロット500 t 以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稻	麦 類	大 豆
1 0 0 ha	5 0 ha	5 0 ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

Ⅳ 宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ、ササニシキ、 まなむすめ、だて正夢	トヨニシキ、げんきまる、 東北１９４号、金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ、つや姫
も ち	みやこがねもち	
特 殊 用途米	蔵の華（酒造好適米）	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ、夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ、ホワイトファイバー	—
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ、あやこがね	タチナガハ、きぬさやか、すずみのり
晩 生	ミヤギシロメ	—

V 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

VI 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟耐性, 耐 倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦 類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大 豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類		農作物 の種類	区 制		耕種法の種類
			1 区面積	区 数	
基 本 調 査	予 備	稲	6 m ² 以上	2 区	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本 県に最も普及している耕種様式により調査を行 う。
	調 査	麦 類	10m ² 以上	以上	
		大 豆	12m ² 以上		
調 査	本調査	稲 麦	6 m ² 以上	3 区	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本 県に最も普及している耕種様式を原則として複 数用いて調査を行う。
		類大	10m ² 以上	以上	
		豆	12m ² 以上		
現地調査		稲 麦 類大 豆	20m ² 以上	2 区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 優 良品種適応地域ごとに最も普及している耕種様 式により調査を行う。

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調 査 の 項 目
基 本 調 査	予 備 調 査	1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質 2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質 3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質
	本調査	1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味 2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質 3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質
	現地調査	1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。 2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。 3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。

Ⅶ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第 59 号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

Ⅷ 主要農作物品種審査会構成員名簿（令和7年4月）

役 職 名	氏 名	所属及び職名
会 長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
委 員	守屋 明良	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
〃	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群食資源開発学類 准教授
〃	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長
〃	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士
〃	阿部 祐子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	千葉 啓嗣	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹 事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	都築 寛明	宮城県農政部食産業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	菅野 千秋	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
〃	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

IX 水稻優良品種特性表

種類	早晩性	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採用年次	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	穂長 (cm)	穂数 (cm^2)	穂型	稈発芽性	脱粒性	諸抵抗性				収量(kg/10a)		粒形(mm)			食味	特性概要	栽培適地						
												低い 稈 の 真 子 性 型	穂 い ち も ち の 真 子 性 型	穂 い ち も ち の 真 子 性 型	白米 枯 れ	耐 冷 性	耐 倒 伏 性	精 米 重	玄 米 重	玄 米 千 粒 重				長 さ	幅 さ	厚 さ	芒の 多 少	芒の 長 短	心 ふ ろ 先 色
早生	やまのしずく	ササニシキ	中部94号(峰ひびき)×こころまち (宮城県古川農試、平19)	基幹 19	7/29	9/4	82.1	461	偏穂数	やや難	難	<i>Pii</i>	やや強	やや強	やや強	752	587	21.7	5.2	2.8	2.0	少	短	稀少	上の多	上の中	良品質、良食味。耐冷性は強。いもち病に強い。	西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯及び山間高冷地帯	
			奥羽224号(ハツニシキ)×ササニシグレ (宮城県古川農試、昭38)	昭38	8/1	9/15	86.1	526	穂数	やや易	難	<i>Pia</i>	やや弱	やや弱	やや弱	789	589	21.5	5.2	2.7	2.0	稀少	短	稀少	上の多	上の中	良食味。穂はやや弱く、耐倒伏性は弱。耐冷性は弱で、いもち病に弱い。	平土地帯	
			東北78号(ササニシキ)×奥羽239号 (東北農試、昭44)	特定 49	8/1	9/12	87.0	444	中間	やや易	難	<i>Pia</i>	やや強	やや強	やや強	788	607	21.6	5.1	2.7	2.0	少	短	稀少	上の多	上の中	強種。良品質。いもち病に強い。	平土地帯	
			コシヒカリ×初星 (宮城県古川農試、平3)	基幹 3	8/2	9/10	85.1	507	偏穂数	やや難	難	<i>Pii</i>	やや弱	やや弱	やや弱	748	582	22.2	5.2	2.8	2.0	やや	短	稀少	上の多	上の中	良品質、極良食味。耐冷性強。粉数やや少なく、葉いもちにやや弱い。	平土地帯	
中生	ひとめぼれ	まなむすめ	チヨニシキ×東北143号(ひとめぼれ) (宮城県古川農試、平9)	基幹 9	8/1	9/9	81.5	434	中間	難	難	<i>Pii</i>	やや強	やや強	やや強	752	592	23.9	5.3	2.8	2.0	やや	短	稀少	上の多	上の中	耐冷性はやや強へ強。強種で耐倒伏性はやや強。極良食味。いもち病に強い。	平土地帯及び西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯の標高の低い地域	
			ササニシキ×ひとめぼれ (宮城県古川農試、平成23)	特定 25	8/2	9/13	83.9	521	穂数	難	難	+	やや弱	やや弱	やや弱	777	594	21.6	5.2	2.7	2.0	少	短	稀少	上の多	上の中	ササニシキの食味を継承し、良食味。耐冷性は上の強、穂発性は難。いもち病抵抗性は葉いもち病はやや弱、穂いもち病は弱。	北部・南部平土地帯、仙台湾沿岸、西部丘陵地帯	
			北陸189号×まなむすめ (宮城県古川農試、平21)	特定 22	8/5	9/16	84.5	357	中間	難	難	<i>Pib</i>	不明	不明	やや強	789	626	23.6	5.3	2.8	2.0	やや	短	稀少	上の多	上の中	地力が高いほ場では多収が期待できる。強種で耐倒伏性は強。いもち病は穂抵抗性は不明。	山間高冷地を除く県下一円 (地力が高いほ場)	
			農林22号×農林1号 (福井農試、昭31)	特定 13	8/12	9/20	100.3	434	中間	難	難	+	弱	弱	中	強	739	556	21.6	5.1	2.8	2.0	稀	短	稀少	上の多	上の中	良品質、良食味。耐冷性は強で、耐病性、耐倒伏性は弱。	南部平土地帯
晩生	つや姫	みやこがねもち (こがねもち)	山形70号×東北164号 (山形農研センター、平21)	基幹 21	8/10	9/21	81.3	448	中間	中	難	<i>Pii</i> <i>Pik</i>	強	強	やや強	761	595	21.8	5.2	2.8	2.0	稀	短	稀少	上の多	上の中	良品質、良食味。短種で耐倒伏性はやや強。耐冷性は中。穂いもち病抵抗性は不明。	南部平土地帯を中心とした平土地帯、仙台湾沿岸地帯	
			信濃33号×農林17号 (新潟農試中条試験地、昭33)	基幹 33	8/6	9/17	95.9	386	偏穂重	易	難	<i>Pia</i>	弱	弱	やや弱	779	596	21.7	5.0	2.8	2.1	稀	中	稀	上の多	上の中	餅質及び食味良好。いもち病に弱く、耐冷性はやや弱、耐倒伏性は弱。	山間高冷地を除く県下一円	
			東北157号(はたじるし)×東510 (宮城県古川農試、平19)	特定 19	7/26	9/4	82.2	489	偏穂数	やや難	難	<i>Pii</i>	強	強	中	強	733	574	22.3	5.3	2.7	2.1	少	短	稀	上の多	上の中	見生の低アミロース米で極良食味。耐冷性は上の強、耐病性は強、耐倒伏性は中。	西部丘陵地帯の標高の高い地域、三陸沿岸地帯の冷涼な地域、山間高冷地帯
			東北189号(げんきまる)×東1126 (宮城県古川農試、平28)	基幹 28	8/5	9/14	87.5	397	中間	やや難	難	<i>Pib</i>	不明	不明	弱	強	759	593	20.3	5.2	2.6	2.0	中	やや	稀少	上の多	上の中	白米アミロース含有率が「ひとめぼれ」と「たきたて」の中間で、極良食味。耐倒伏性はやや強、耐冷性は強。千粒重は26g程度で軽い。	山間高冷地を除く県下一円
新形質米	たきたて	たきたて	奥羽343号×東北153号 (宮城県古川農試、平13)	特定 13	8/4	9/16	89.4	474	偏穂数	中	難	<i>Pii</i>	やや強	やや強	やや強	784	619	21.8	5.1	2.7	2.1	少	短	稀	上の多	上の中	低アミロース米で極良食味。耐冷性はやや強、耐病性は中。	山間高冷地を除く県下一円	
			たきたて×北陸167号(めばえもち) (宮城県古川農試、平28)	特定 28	8/5	9/19	83.5	493	偏穂数	中	難	<i>Pii</i>	中	中	中	強	682	518	21.4	5.3	2.8	2.1	少	短	稀	上の多	上の中	低アミロース巨大胚品種。玄米での食味が優れ、GABAやビタミンE含有量が多い。耐冷性は強。いもち病抵抗性は葉いもち病は中、穂いもち病はやや弱。	山間高冷地を除く県下一円
			東北140号×(山田錦×東北140号) F ₁ (宮城県古川農試、平9)	基幹 9	8/1	9/9	80.0	684	穂数	やや難	難	+	中	強	強	強	772	611	24.1	5.3	2.9	2.1	中	短	稀	上の多	上の中	心白の発現が少ない酒造好適米。穂数が多く多く収穫。短種。耐倒伏性はやや弱、耐冷性は強。	平土地帯、西部丘陵地帯の標高の低い地域

注1 出穂期、成熟期、穂長、穂数、収量、玄米千粒重、粒形は令和2年からの令和6年までの調査の平均値。
その他の特性は品種登録時に係る審査基準の品種及び特許品種の品種特微表示基準等より引用。
2 調査は本県優良品種決定調査(古川農試試験場、大崎市)。施肥基準は基肥5kg/10a、減産分製肥1kg/10a。
3 収量及び千粒重は、篩目1.5mmで調製し、水分15%換算。

X 大豆優良品種特性表

早	晩	品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年次)	採 用 年 次	優 良 品 種 区 分	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	* 生 長 型	主 枝 長 (cm)	分 枝 数 (本)	主 節 数 (節)	* 葉 形	* 伸 長 型	* 毛 茸 有 無	* 花 色	* 莢 色	* 裂 性	実 子										病害抵抗性				密 植 適 応 性	晩 播 適 応 性	特性概要	栽培適地
性																			* 百 粒 重 (g)	* 形 状	* 種 皮 色	* 請 取 量 (kg)	10a 当 た り 粗 た ん ぱ く 質 (%)	粗 脂 肪 (%)	全 糖 (%)	* 外 観 品 質	* ウ イ ル ス 病	* 立 枯 性 病	* 葉 斑 病	大	大	茎長は中茎。主茎節数、分枝数やや少ない。繁茂量多いが耐倒伏性は極強。多肥条件は早播に適し、密植適応性並びに映播適応性大。立枯性病害抵抗性強。紫斑病の発生多い。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。中粒で粒揃い良く品質良。	山間高冷地を除く県下一円		
中 生	中 生	タ ン レ イ	農林2号×東山106号(シロメタカ) (長野県中信農試、昭53)	昭 53	基 幹	7.28	10.30	中 間 型	71	3.9	15.1	円 形	有 限	白 色	紫 色	褐 色	中 性	30.6	精 円	黄 黄	黄 黄	286	44.5	20.1	21.3	中 の 上	中 中	中 中	中 中	大	大	注6や弱	茎長は中茎。主茎節数・分枝数ともやや少ない。耐倒伏性は強。映播適応性が高い。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性強。立枯性病害抵抗性・紫斑病抵抗性中。やや大粒で品質良。豆腐・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く県下一円	
中 生	中 生	あ や こ が ね	東山124号(ホレイ)×エンレイ (長野県中信農試、平11)	平 11	基 幹	7.27	10.21	中 間 型	91	4.3	16.5	円 形	有 限	白 色	紫 色	褐 色	中 性	35.1	球 形	黄 黄	黄 黄	351	45.3	19.4	21.7	中 の 上	中 中	中 中	中 中	大	大	茎長は中茎。主茎節数・分枝数ともやや少ない。耐倒伏性は強。映播適応性が高い。ウイルス病抵抗性強。立枯性病害抵抗性・紫斑病抵抗性中。やや大粒で品質良。豆腐・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く県下一円		
中 の 晩	中 の 晩	タ チ ナ ガ ハ	東山101号×東山系G627 (長野県中信農試、昭61)	平 8	特 定	7.28	11.08	中 間 型	79	4.2	15.9	長 く 中 間	有 限	白 色	紫 色	褐 色	中 性	37.4	精 円	黄 黄	黄 黄	267	42.6	21.0	21.7	中 の 上	中 中	中 中	中 中	中	中	茎長は中茎。分枝数やや少ない。ウイルス病抵抗性中だがウイルスの系統によっては抵抗性が無い。ダイズシストセンチュウ抵抗性強。立枯病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。	山間高冷地を除く県下一円		
中 の 晩	中 の 晩	き ぬ さ や か	刈系508号×刈交0459F1 (東北農研、平17)	平 18	特 定	7.25	10.16	中 間 型	76	4.9	15.2	円 形	有 限	白 色	白 色	中 性	中 性	28.5	球 形	黄 白	黄 黄	391	43.4	19.3	23.2	中 の 上	中 中	中 中	中 中	中	中	茎長は中茎。分枝数中程度。耐倒伏性は強。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性強。立枯病害抵抗性・紫斑病抵抗性ともにやや弱。中粒で品質良。青臭みの原因であるリボキシグナーゼとグルコースAアセチルサボニンを欠失しており、豆乳・豆腐加工に適する。	山間高冷地を除く県下一円		
中 の 晩	中 の 晩	す ず み の り	東山199号(チカホリ)×東山系X985(東山12号) (長野県中信農試、平11)	令 4	基 幹	7.28	11.03	中 間 型	80	4.1	15.7	三 角 形	有 限	白 色	紫 色	褐 色	中 性	36.6	偏 球	黄 黄	黄 黄	365	45.0	19.9	21.3	中 の 上	中 中	中 中	中 中	中	中	茎長は中茎。分枝数やや少ない。ウイルス病はA～Eの5系統に抵抗性。ダイズシストセンチュウ抵抗性強。立枯病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。密植適応性や映播適応性については、優良品種試験の結果から収量性は「タチナガハ」に劣る。	山間高冷地を除く県下一円		
晩 生	晩 生	ミ ヤ キ シ ロ メ	岩沼在来種の系統分離 (宮城農試、昭36)	昭 36	基 幹	8.02	11.10	中 間 型	99	5.0	16.7	円 形	有 限	白 色	紫 色	淡 褐 色	中 性	44.0	やや 精 円	黄 白	黄 黄	416	42.1	19.5	23.8	中 の 上	中 中	中 弱	小 強	小	小	茎長は長茎。初期生育旺盛。分枝数やや少ないが開張性、本葉大きく受光体勢不良で萎化・倒伏しやすい。紫斑病抵抗性強。立枯性病害・ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。極大粒で品質良。	県下平地地帯		

[注1] 特性表のデータは、過去5か年(令和2年～令和6年)の優良(奨励)品種決定調査結果の平均値。

[注2] 「*」印を付した項目は「すずみのり」以外は「だいたず品種特性分類」(農林水産省)、「すずみのり」は「ダイズ類特性調査マニュアル」(農研機構品種管理センター)の表記に基づく。品種採用時の項目・表記方法を用いているため、採用年次により項目が無くなったり、同一特性でも表記が変わった場合がある。

[注3] 「あやこがね」は、平成25～29年のデータ。

[注4] 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。

[注5] 「ミヤギシロメ」は、青立ちの障害が顕著だった令和5年を除く4か年のデータ。

[注6] 「タンレイ」の紫斑病抵抗性は「だいたず品種特性分類」(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。

XI 麦類優良品種特性表

(供試年次: 令和2～令和6年)

イ 小麦

早晩性	品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年)	品 種 採 用 年 次 分 次	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	穂 長 (cm)	穂 長 (cm)	m ² 当たり 穂 数	* 芒の長短	* 株の開閉性	* 脱粒性	* 秋播性程度	原 麦				品 質 (60%粉)			諸抵抗性						概 要		
													千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10 a 当 たり 収 量 (kg)	粗 蛋 白 含 有 率 (%)	灰 分 (%)	色 相	外 観	品 質	* さび病	* うどんこ病	* 赤かび病	* 凍上害抵抗性	* 耐寒性		* 耐雪性	* 耐倒伏性
早 生	あおばの恋	(関東105号×Veery's) × 西海171号 (農業研究セター、平20)	特 定 20	4.26	6.17	74	7.1	524	やや長	かなり雌		Ⅱ	42.6	836	527	10.1	0.71	80	中の上	やや弱	やや弱	やや弱	弱	—	—	—	中	早生・中程で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製麺適性が優れる。
中生の早	シラネコムギ	北陸49号 × 東海80号 (長野農試、昭61)	基 平 28	5.1	6.20	81	7.3	447	中閉	雌		Ⅳ	43.3	840	554	9.9	0.53	81	中の上	やや強	やや中	やや中	強	や	や	や	中	中程・強程で草型も良く、耐寒雪性は強。穂発芽性は難。製パン適性が高く、中華麺にも適する。
中生の早	夏黄金	((関東123号 × 東北214号) × (関東123号 × 東北209号)) × もち盛系C-3170a (東北農研セター、平28)	基 平 28	5.1	6.19	78	7.8	469	極や短	雌		Ⅴ	40.8	848	509	10.2	0.44	83	中の上	中	中	中	中	強	強	中	強	中程・強程で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麺にも適する。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和2～令和6年) *印の特性は「小麦種苗特性分類」(農林水産省)による。

注2) 品質 (60%粉) のデータは、令和5年度の調査結果による。

ロ 大麦

早晩性	品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年)	品 種 採 用 年 次 分 次	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	穂 長 (cm)	穂 長 (cm)	m ² 当たり 穂 数	* 芒の長短	* 株の開閉性	* 脱粒性	* 秋播性程度	原 麦			品 質			外 観			諸抵抗性					概 要
													千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10 a 当 たり 収 量 (kg)	硝 子 率 (%)	55 % 搗 搗 精 白 度	炊 飯 白 度	中 の 中	* さび病	* うどんこ病	* 赤かび病	* 凍上害抵抗性	* 耐寒性	* 耐雪性	* 耐倒伏性	
早 生	シェンライ	シノリギ × 東山皮68号 (長野農試、平2)	基 平 3	4. 19	6. 2	91	4. 0	498	や や 長	中 易			37	689	530	36. 3	48. 3	37	中 の 中	中	や や 弱	や や 弱	や や 強	や や 強		中	中程・強程で草型も良く耐倒伏性は強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。
中生の早	ホワイトファイバー	東山系籾437号 × 東山皮96号 (長野農試、平27)	特 定 28	4. 21	6. 4	94	4. 3	510	長 中	中 中			35. 9	692	581	20. 4	50. 5	34	中 の 中	中	や や 弱	や や 弱	や や 中	や や 強	や や 強	強	中程で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強。もち性。
中 生	ミノリムギ	東山皮1号 × コガシムギ (長野農試、昭44)	基 昭 44	4. 24	6. 5	100	4. 1	505	長 中	や や 易			36. 3	700	565	38. 7	49. 9	35	中 の 中	中	中	中	中	中	中	強	多収・長程で赤かびやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性、耐雪性は強。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和2～令和6年)、*印の特性は「大麦種苗特性分類」(農林水産省)による。

注2) 品質の炊飯白度のデータは平成26～30年度の調査結果による。

Ⅻ 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha)

年 次		令和2年産				令和3年産				令和4年産				令和5年産				令和6年産				令和7年産			
品 種	項 目	作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合		作付 面積 (ha)	作付割合				
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B						
うるち	やまのしずく	36	0.1%	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.06%	0.06%	4	0.01%	0.01%	35	0.07%	0.07%	33	0.06%	0.06%	33	0.06%	0.06%			
	ササニシキ	3,479	6.0%	5.9%	3,924	6.8%	6.6%	3,872	7.0%	6.8%	4,266	7.7%	7.6%	4,099	8.1%	7.9%	3,684	7.1%	7.1%	3,684	7.1%	7.1%			
	ひとめぼれ	43,988	75.8%	74.0%	42,508	73.7%	72.0%	40,189	72.8%	71.0%	38,805	70.4%	68.7%	36,002	71.4%	69.4%	37,460	74.3%	72.3%	37,460	74.3%	72.3%			
	まなむすめ	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%	3,247	5.9%	5.7%	3,425	6.2%	6.1%	2,555	5.1%	4.9%	2,626	5.2%	5.1%	2,626	5.2%	5.1%			
	だて正夢	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%	663	1.2%	1.2%	741	1.3%	1.3%	732	1.4%	1.4%	626	1.2%	1.2%	626	1.2%	1.2%			
	げんきまる	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%	1,033	1.9%	1.8%	1,190	2.2%	2.1%	670	1.3%	1.3%	397	0.8%	0.8%	397	0.8%	0.8%			
	トヨニシキ	102	0.2%	0.2%	96	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%	41	0.1%	0.1%	55	0.1%	0.1%	47	0.1%	0.1%	47	0.1%	0.1%			
	コンヒカリ	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%	464	0.8%	0.8%	425	0.8%	0.8%	440	0.9%	0.8%	425	0.8%	0.8%	425	0.8%	0.8%			
	つや姫	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%	4,966	9.0%	8.8%	5,257	9.5%	9.3%	5,386	10.7%	10.4%	5,919	11.7%	11.4%	5,919	11.7%	11.4%			
	東北194号	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%	179	0.3%	0.3%	194	0.4%	0.3%	294	0.6%	0.6%	280	0.6%	0.5%	280	0.6%	0.5%			
	蔵の華	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%	120	0.2%	0.2%	119	0.2%	0.2%	118	0.2%	0.2%	118	0.2%	0.2%			
	ゆきむすび	63	0.1%	0.1%	49	0.1%	0.1%	72	0.1%	0.1%	79	0.1%	0.1%	38	0.1%	0.1%	72	0.1%	0.1%	72	0.1%	0.1%			
	たきたて	35	0.1%	0.1%	29	0.1%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	27	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%			
	金のいぶき	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%	349	0.6%	0.6%	567	1.0%	1.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%			
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%			
もち	計	57,994	100%	97.6%	57,649	100%	97.6%	55,207	100%	97.6%	55,110	100%	97.6%	50,450	100%	97.3%	51,719	102%	99.8%	51,719	102%	99.8%			
	ヒメノモチ	22	1.5%	0.04%	30	2.1%	0.05%	18	1.3%	0.03%	14	1.0%	0.02%	13	0.9%	0.02%	11	0.8%	0.02%	11	0.8%	0.02%			
	みやこがねもち	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%	1,331	98.0%	2.4%	1,364	98.2%	2.6%	1,377	99.1%	2.7%	1,377	99.1%	2.7%			
	こちまる	15	1.0%	0.02%	16	1.2%	0.03%	11	0.8%	0.02%	14	1.0%	0.02%	13	0.9%	0.03%	12	0.9%	0.02%	12	0.9%	0.02%			
	計	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%	1,358	100%	2.4%	1,390	100%	2.7%	1,400	101%	2.7%	1,400	101%	2.7%			
合 計		59,442	—	100%	59,038	—	100%	56,566	—	100%	56,468	—	100%	51,839	—	100%	53,118	—	102%	53,118	—	102%			

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

2) 作付面積は、種子供給量（公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部）を面積換算（4kg/10a）した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

XⅢ 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積: ha, 割合: %)

年次	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産		令和6年産		
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	
大豆	ミヤギシロメ	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,556	50.5%	5,984	50.3%	6,049	51.7%	6,474	55.3%
	タンレイ	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%	2,289	19.2%	2,036	17.4%	1,693	14.5%
	タチナガハ	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%	3,084	25.9%	3,112	26.6%	2,742	23.4%
	あやこがね	198	1.8%	199	1.8%	153	1.4%	135	1.1%	129	1.1%	147	1.3%
	きぬさやか	77	0.7%	113	1.0%	102	0.9%	107	0.9%	107	0.9%	79	0.7%
	すずほのか	110	1.0%	110	1.0%	99	0.9%	106	0.9%	94	0.8%	72	0.6%
	すずみのり									35	0.3%	263	2.2%
	その他	143	1.3%	140	1.3%	195	1.8%	195	1.6%	164	1.4%	129	1.1%
合 計	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	11,900	100%	11,700	100%	11,700	99%	

注) 作付面積は農林水産省作物統計資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

XIV 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年 次	令和元年産				令和2年産				令和3年産				令和4年産				令和5年産				令和6年産			
品 種	項 目	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合			
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B					
大麦	ミノムギ	290	25.0%	12.7%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%	295	20.9%	12.3%	262	18.1%	10.0%	251	17.3%	9.6%					
	シュンライ	660	56.9%	28.8%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%	495	35.1%	20.6%	505	34.8%	19.3%	477	32.9%	18.3%					
	ホワイトファイバー	179	15.4%	7.8%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%	569	40.4%	23.7%	648	44.7%	24.8%	699	48.2%	26.8%					
	その他	31	2.7%	1.4%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%	51	3.6%	2.1%	36	2.5%	1.4%	53	3.7%	2.0%					
	計	1,160	100%	50.7%	1,160	100%	51.3%	1,280	100%	53.6%	1,410	100%	58.7%	1,450	100%	55.6%	1,450	102%	55.6%					
小麦	シラネコムギ	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%	476	47.9%	19.8%	571	49.2%	21.9%	482	41.6%	18.5%					
	夏黄金	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	435	43.8%	18.1%	500	43.1%	19.2%	608	52.4%	23.3%					
	あおばの恋	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%	64	6.4%	2.7%	63	5.4%	2.4%	68	5.9%	2.6%					
	その他	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%	19	1.9%	0.8%	27	2.3%	1.0%	22	1.9%	0.8%					
	計	1,130	100%	49.3%	1,100	100%	48.7%	1,110	100%	46.4%	994	100%	41.3%	1,160	100%	44.4%	1,160	102%	44.4%					
合 計		2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%	2,404	100%	100%	2,610	100%	100%	2,610	100%	100%					

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、農林水産省「作物統計」(面積)とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率(播種状況調査)を基に算出。



令和6年度 麦類優良品種決定調査結果 宮城県古川農業試験場

令和7年10月16日

麦類優良品種について(大麦)

品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年)	区 品 年 採 分 種 次 用	概 要
シュンライ	ミノリムギ×東山皮68号 (長野農試、平2)	基幹 平3	早生。中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。
ホワイトファイバー	東山系糯437号×東山皮96号 (長野農試、平27)	基幹 平28	中生の早。中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強。もち性。
ミノリムギ	東山皮1号×コウゲンムギ (長野農試、昭44)	基幹 昭44	中生。長稈で株がやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性・耐雪性は強。

・要望される品種 大麦

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。

また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

麦類優良品種について(小麦)

品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年)	区 品 年 採 分 種 次 用	概 要
あおばの恋	(関東105号×Veery's)×西海171号 (農業研究センター、平20)	特定 平 20	早生。中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製麺適性が優れる。
シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試、昭61)	基幹 平 元	中生の早。中稈・強稈で草型も良く、耐寒雪性は強。穂発芽性は難。加工適性が高く、麺用粉として食味も良好である。
夏黄金	((関東123号×東北214号)×(関東123号×東北209号))×もち盛系C-3170a (東北農研センター、平28)	基幹 平 28	中生の早。中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麺にも適する。

・要望される品種 小麦（日本めん用）

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

・要望される品種 小麦（パン・中華めん用）

夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

麦類優良品種決定調査について

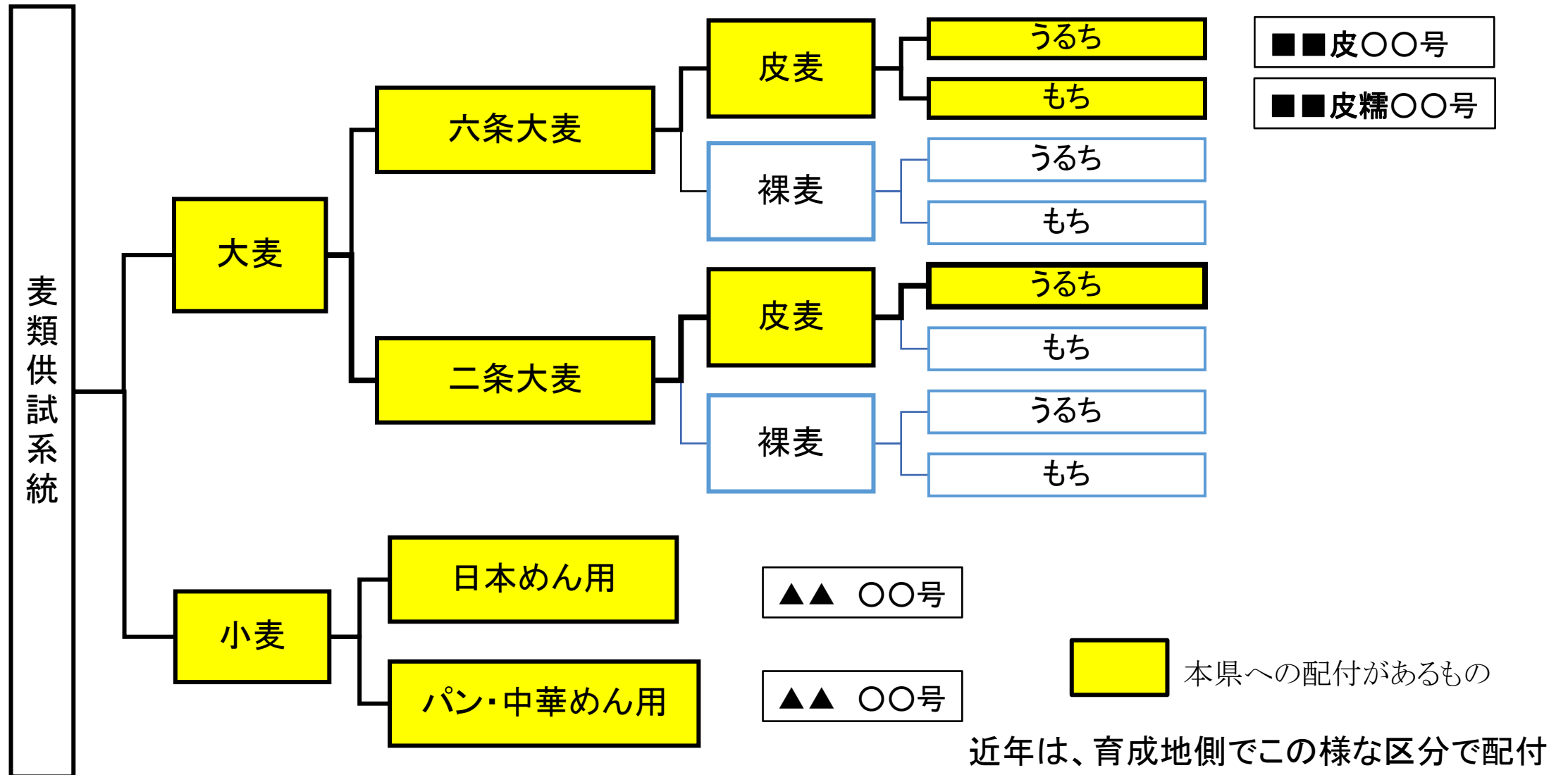
区分	1年目	2年目	3年目
基本調査	<u>予備調査</u>		
		<u>本調査</u>	<u>本調査</u>
現地調査		現地調査	現地調査

原則として
3年間実施

優良品種決定調査の調査項目の基準(麦類)

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備調査	播種期、出穂期、成熟期、発芽の良否、稈長、穂長、穂数、子実数量 千粒重、子実品質、倒伏程度、病害虫、気象災害その他の障害に対する抵抗 性、有望度及び有利又は不利とした形質
	本調査	予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし、環境変化の受け難い項目 は省略することができる。容積重及び子実加工品の品質
現地調査		基本調査の予備調査の項目に同じ。

麦類供試系統の大まかな分類



本県に供試を行なっている主な育成地

小麦	六条大麦	育成地名称	略称	所在地
東北	－	農研機構 東北農業研究センター	東北農研	岩手県盛岡市
東山	東山皮	長野県農業試験場	長野県農試	長野県須坂市
－	北陸皮	農研機構 中日本農業研究センター 上越研究拠点	中日本農研 上越	新潟県上越市

注1) 農研機構は通称。正式名称は国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構。

供試系統の有望度説明

記号	有望度	意味	次年度調査 の種子配付 希望	育成地側の対応
◎	ごく有望	優良品種候補とする(品種審査会に諮る)	しない	配布中止(採用後は調査終了となるので)。
○	有望	優良品種として期待出来るのでその前提で調査を継続	する	次年度も配付を継続する。
△	再検討	多少見込みがあるのでもう少し調査を継続する	する	//
×	打ち切り (廃棄)	(全く見込みが無いので)調査終了	しない	配布中止。他県で○△が無い限り種子も廃棄。
※	中止	特性を把握したので調査終了(良い系統の様だが本県に入る余地が無い)	しない	本県への配付は中止するが他県で希望するところへの配付は引き続き継続。

注) なお、育成地の都合で配付が中止・終了となることもよくある。

令和6年度大麦供試系統 — 精麦用(うるち種)

- 予備調査

1. 北陸皮79号

低硝子率、大粒、実需からの評価が良い

2. 東山皮123号

ポストシェンライ、多収、硝子率がやや高い

- 本調査および現地調査

北陸皮78号

低硝子率、大粒

令和6年度 大麦(うるち)系統成績一覧

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概 評	
								シュンライ	ミノリムギ							長所	短所
北陸皮79号	予1	4.22	6.07	414	0.0	0.0	47.4	126	130	688	35.1	4.0	3.6	49.7	△	収量が優る 硝子率が低い →年次変動確認のため再検討	
東山皮123号	予1	4.25	6.03	501	0.0	0.0	50.1	134	138	689	38.1	3.0	31.0	48.9	△	収量が優る 硝子率がやや高い →年次変動確認のため再検討	
北陸皮78号	本2 予1	4.24	6.08	417	0.0	0.0	53.6	143	147	683	37.3	3.0	6.3	53.0	※	収量が優る 硝子率が低い →特性把握につき試験中止	麦ごはんにしたときに酸味や青臭さがある(育成地調べ)
(標)シュンライ		4.21	6.02	502	0.0	0.0	37.5	100	100	706	36.3	3.0	21.0	50.8			
(比)ミノリムギ		4.26	6.08	423	0.0	0.0	36.4	97	100	708	35.3	2.0	33.8	50.9			

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。

注2) 倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、5:甚

注3) 赤かび病の発生程度 0:無、1:少、2:中、3:多、5:甚

注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注5) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止 (中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

硝子率

玄麦の横断面から判断できる硝子質粒、半硝子質粒、粉状質粒の割合。低い方が望ましい。



精麦白度

精麦の表面の白さ。値が大きいほど白く、白度が高いものが望まれる。



出典: みんなの農業広場 農作業便利帖 麦・大豆 麦編 ランク区分 オオムギ

<https://www.jeinou.com/benri/wheat/2011/01/140935.html>

令和6年度大麦供試系統 — 精麦用(もち種)

- **本調査および現地調査**

1. **東山皮糯121号**

ホワイトファイバーの改良版、硝子率はやや低く、
白度が高い

2. **北陸皮糯81号**

白度が高く、空洞麦率は低い

令和6年度 大麦(もち)系統成績一覧

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%) ホワイトファイバー	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概 評	
															長所	短所
東山皮糯121号	本2 予1	4.25	6.05	467	0.0	0.0	38.1	90	704	35.3	3.0	15.6	53.8	△	出穂期が遅い →年次変動確認のため再検討	
北陸皮糯81号	本1 予1	4.24	6.07	463	0.0	0.0	41.2	97	701	32.7	3.0	2.4	50.3	※	硝子率が低い →特性把握につき試験中止	千粒重が小さい
(標)ホワイトファイバー		4.23	6.05	487	0.0	0.0	42.4	100	701	35.4	3.0	11.6	53.4			

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表す。

注2) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注3) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止 (中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及センター	有望度	判定理由
大麦 「東山皮糯121号」	大河原	△	出穂期、成熟期がホワイトファイバーより3日遅い。子実重、千粒重ともに上回るが、硝子率が高く、外観品質が劣る。仙南地域は大豆との組み合わせが多いことから、成熟期の早い品種を望んでおり、仙南地域としては劣るに近い再検討と判断した。
	石巻	△	出穂期・成熟期ともホワイトファイバーより1週間遅く、稈長・穂長は同程度であったが、穂数は少ない。千粒重が重く、容積重や外観品質は同程度。出穂後のスズメの食害により収量は参考値では同程度だが、判然としないため再検討とした。

注) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：打ち切り、※：中止
 (中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和6年度大麦供試系統 — 醸造用

- **本調査**

東北二条 5 1 号

縞萎縮病に強く、小春二条より多収

大麦(醸造)系統成績一覧

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試	出穂期	成熟期	穂数	倒伏	子実重	子実重 対照比(%)	容積重	千粒重	外観	有望	概 評	
	年数	(月.日)	(月.日)	(本/m ²)	程度	(kg/a)	小春二条	(g/L)	(g)	品質	度	長所	短所
東北二条51号	本1 予1	4.24	6.06	797	1.0	56.9	101	740	43.4	4.0	※	千粒重が大きい →特性把握につき試験中止	外観に色ムラがある
(標)小春二条		4.26	6.07	763	2.0	56.3	100	747	41.5	3.0			

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表す。

注2) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注4) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和6年度優良品種決定調査結果（大麦） まとめ

種類	用途	予備調査	有望度	本調査	有望度	現地調査	有望度
六条大麦	うるち	北陸皮79号 東山皮123号	△ △	北陸皮78号(2)	※	－	
		(標)シュンライ (比)ミノリムギ		(標)シュンライ (比)ミノリムギ		－	
	もち	－		東山皮糯121号(2) 北陸皮糯81号(1)	△ ※	東山皮糯121号(1)	△
		－		(標)ホワイトファイバー		(標)ホワイトファイバー	
	醸造			東北二条51号(1)	※		
				(標)小春二条			

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数
注2) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止
(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和6年度 小麦供試系統 ー 日本めん用

- ・ 予備調査

東北241号

製粉性に優れる、通常アミロース系統

- ・ 本調査および現地調査

1. 東山63号

やや多収、外観品質が優れる、低アミロース

2. 東山64号

耐寒性「強」、耐雪性「やや強」、低アミロース

小麦（日本めん）系統成績一覽

○要望される品種

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率		有望 度	概 評	
								シラネ	夏黄金				DM(%)	水分13.5(%)		長所	短所
東北241号	予1	5.04	6.24	393	0.0	0.0	43.4	83	－	820	36.4	3.0	11.0	8.8	△	千粒重が小さい	
																→年次変動確認のため再検討	
東山63号	本2 予1	4.30	6.21	508	0.0	0.0	61.6	118	－	815	42.4	2.0	10.2	9.5	※	外観品質が優れる 多収	やや低アミロース
																→特性把握につき試験中止	
東山64号	本1 予1	5.02	6.21	361	0.0	0.0	52.6	100	－	812	39.9	3.0	12.0	10.4	※	容積重が小さい やや低アミロース	
																→特性把握につき試験中止	
(標)シラネコムギ		5.04	6.22	463	0.0	0.0	52.4	100	－	821	41.4	3.0	13.8	11.9			
(比)あおばの恋		4.28	6.20	578	0.0	0.0	58.4	111	－	815	38.4	3.0	10.9	9.4			

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表す。

注2) 倒伏程度 0：無、1：少、2：中、3：多、4：甚

注3) 赤かび病の発生程度 0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚

注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注5) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：打ち切り、※：中止（中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。）

令和6年度 小麦供試系統 — 中華めん・パン用

- 本調査

東山62号

多収で、縞萎縮病抵抗性をもつ硬質系統。

小麦(中華めん・パン)系統成績一覧

○要望される品種

夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク含有率		有望 度	概	評
								シラネ	夏黄金				DM(%)	水分13.5(%)		長所	短所
東山62号	本1 予1	5.02	6.20	520	0.0	0.0	43.2	-	98	837	39.0	2.0	15.5	13.4	△	千粒重が大きい	パン加工適性で劣る
→年次変動確認のため再検討																	
(標)夏黄金		5.03	6.21	455	0.0	0.0	44.0	-	100	833	37.8	3.0	14.5	12.5			

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表す。

注2) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注5) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止 (中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及センター	有望度	判定理由
小麦「東山63号」	美里	○	出穂期・成熟期はほぼシラネコムギと同等。草姿は稈が強く、止葉が立ち受光態勢が良かった。収量・品質ともシラネコムギに優り、特に精子実重はシラネコムギ対比136%ときわめて多収。やや赤かび病の発病が多かったが、総合的に対照品種より有望と判断した。
	登米	○	シラネコムギと比較して、東山63号は縞萎縮病の影響をあまり受けていないようであった。生育ステージはシラネコムギよりもやや早く、出穂期はシラネコムギより6日ほど早い。千粒重はシラネコムギと同程度、精子実重、外観品質は上回ることから有望と判断した。

注) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：打ち切り、※：中止
 (中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

実需者による製パン試験結果

R6年産の東山62号は夏黄金よりも官能評価の結果が低かった。今後、年次変動を確認していく。

パン官能評価

【No.4 夏黄金(宮城県)】

焼き色 (10)	形の均整 (5)	皮質 (5)	スダチ (10)	内色相 (10)	香り (10)	味 (25)	触感 (15)	体積 (10)	合計 (100)
7.5	3.6	3.7	7.4	8.6	7.7	20.3	12.0	7.8	78.6

【No.5 東山62号(宮城県)】

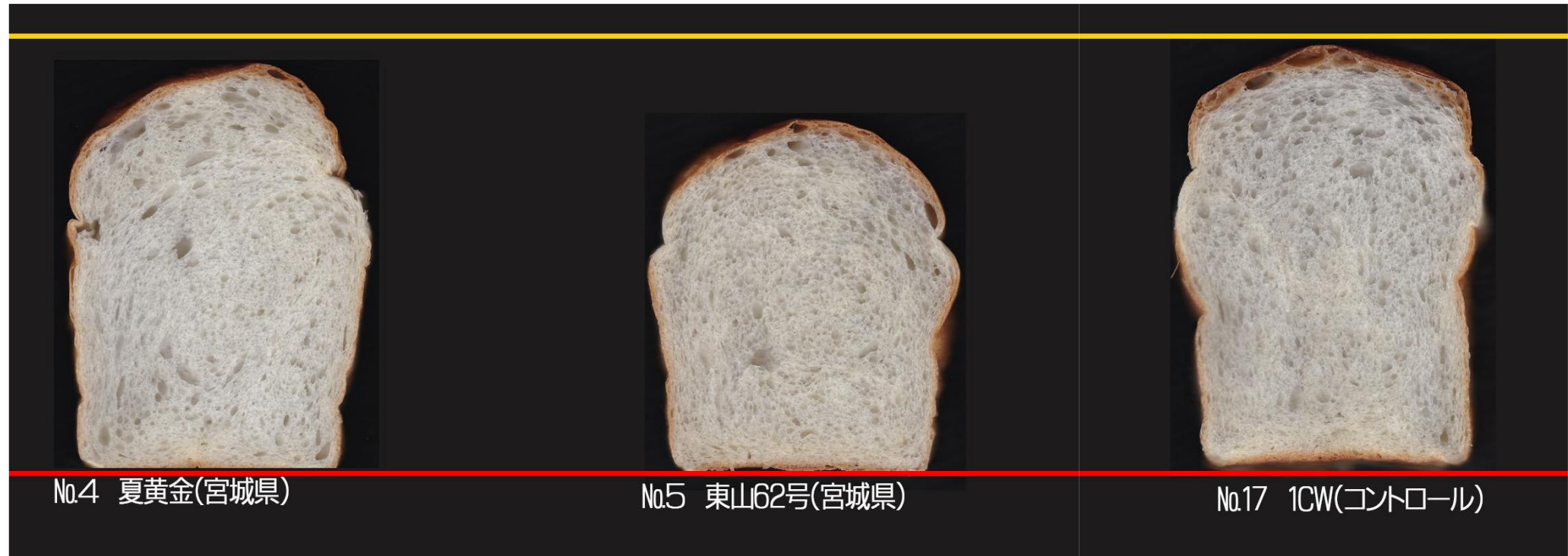
焼き色 (10)	形の均整 (5)	皮質 (5)	スダチ (10)	内色相 (10)	香り (10)	味 (25)	触感 (15)	体積 (10)	合計 (100)
7.7	3.0	3.1	6.6	6.9	6.3	18.4	9.9	6.9	68.8

【No.17 1CW(共通標準)】

焼き色 (10)	形の均整 (5)	皮質 (5)	スダチ (10)	内色相 (10)	香り (10)	味 (25)	触感 (15)	体積 (10)	合計 (100)
8.0	4.0	4.0	8.0	8.0	8.0	20.0	12.0	8.0	80.0

1CW:No.1カナダウエスタン パン用に使われている小麦で製パン試験の標準銘柄

実需者による製パン試験結果



1CW: No.1カナダウエスタン パン用に使用されている小麦で製パン試験の標準銘柄

一般にパンの膨らみが大きい(比容積が高い)パンほど製パン適性は良好と評価され、東山62号は膨らみが小さい。今後、年次変動を確認していく。

令和6年度優良品種決定調査結果（小麦） まとめ

用 途	予備調査	有望度	本調査	有望度	現地調査	有望度
日本 めん	東北241号	△	東山63号(2) 東山64号(1)	※ ※	東山63号(1)	○
	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋		(標)シラネコムギ (比)あおばの恋		(標)シラネコムギ	
パン・ 中華めん	－		東山62号(1)	△	－	
	－		(標)夏黄金		－	

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：打ち切り、※：中止

(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和7年度 麦類優良品種決定調査に供する 品種について(案)

宮城県

令和7年10月16日



要望される品種

・要望される品種 大麦

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。

また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

・要望される品種 小麦(日本めん用)

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

・要望される品種 小麦(パン・中華めん用)

夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

令和7年度 大麦供試系統 — 精麦用(うるち種)

- 本調査及び現地調査

- 北陸皮79号

低硝子率、大粒、実需からの評価が良い

- 東山皮123号

ポストシュンライ、多収、硝子率がやや高い

種類	用 途	予備調査	本調査	R6 有望度	現地調査	R6 有望度
六条 大麦	うるち	—	北陸皮79号(1) 東山皮123号(1)	△ △	北陸皮79号(1)	
		—	(標)シュンライ (標)ミノリムギ		(標)シュンライ (標)ミノリムギ	

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 有望度は令和6年度試験での評価

注3) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止

(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和7年度 大麦供試系統 — 精麦用(もち種)

- 本調査及び現地調査

東山皮糯121号

ホワイトファイバーの改良版、硝子率はやや低く、白度が高い

種類	用 途	予備調査	本調査	R6 有望度	現地調査	R6 有望度
六条 大麦	も ち	—	東山皮糯121号(3)	△	東山皮糯121号(2)	△
		—	(標)ホワイトファイバー		(標)ホワイトファイバー	

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 有望度は令和6年度試験での評価

注3) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止

(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和7年度 小麦供試系統 ー 日本めん用

- ・ 本調査及び現地調査

東北241号

製粉性に優れる、通常アミロース系統

用 途	予備調査	本調査	R6 有望度	現地調査	R6 有望度
日本 めん	ー	東北241号(1)	△	東北241号(1)	ー
	ー	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋		(標)シラネコムギ	

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 有望度は令和6年度試験での評価

注3) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止

(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)

令和7年度 小麦供試系統 — パン・中華めん用

- 予備調査

東北242号

製パン性に優れる硬質系統、赤かび病・穂発芽抵抗性遺伝子のそれぞれをもつ

- 本調査

東山62号

多収で、縞萎縮病抵抗性をもつ硬質系統。

用 途	予備調査	本調査	R6 有望度	現地調査	R6 有望度
パン・ 中華めん	東北242号	東山62号(2)	△	—	
	(標)夏黄金	(標)夏黄金		—	

注1) 表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 有望度は令和6年度試験での評価

注3) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止

(中止は有望度として○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す。)